



大船渡市議会議員 佐藤優子 活動報告

編集・発行責任者：佐藤ゆうこ後援会

ゆうこだより

2023年11月発行

Vol.

10

○1974年7月31日生 日頃市町出身・現在大船渡町下平在住

○経歴／日頃市小学校・日頃市中学校・大船渡高校・東北学院大学経済学部卒業、衆議院議員秘書、NPO法人職員などを経て、株式会社カメラリア社中を起業。2020年4月から大船渡市議会議員
〔議会の所属〕総務常任委員会委員・議会運営委員会副委員長・大船渡地区環境衛生組合監査委員

ゆうこの毎日

2023年7月～9月

5月からコロナが5類となったことで、他の自治体の先進的な施策や取り組みを現場に赴いて調査し、当市の政策立案や意思決定に反映していくための行政視察において、様々な学びをいただいております。

【議会運営委員会】7月19日茨城県取手市議会（議会ICTの先進議会！）へ：タブレットの運用について 7月20日茨城県つくば市議会へ：議会報告会の実施状況について 【総務常任委員会】8月28日宮城県気仙沼市役所へ：地方創生に係る人口減少対策について、ふるさと納税について ＊R4年度の「ふるさと納税」寄付金額は、大船渡市は約2億に対し、気仙沼市は約49億で東北第1位でした。



7月



東京・早稲田大学にて



更生保護女性の会・大船渡町

8月



平地区子ども会『夏をまんきつ！ミニなつまつり』



大船渡・さんま初水揚げ

7月5・6日■変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義～全国から集まった約600名の地方議員と共に2日間、学びました

7月25・28日■放課後児童クラブゆうゆう・うみねこキッズ、訪問奉仕活動。“おはなしころりん”さんの協力で大船渡昔話の紙芝居

8月11日■子どもたちに少しでも楽しい思い出を！と、保護者さんたちの手作り企画。ご近所さんも見学に。ちなみに私は射的係！

8月26日■大船渡魚市場にて、“さんまぶっしー”とともにさんま船をお出迎え。さんまが水揚げされると魚市場は活気付きます

みんなでおどっぺし！おおふなと

8月5日■「大船渡夏まつりの道中踊りに参加したいけど、はまれるところがない」との声を受け、道中おどりに参加したい方々の“受け皿”となるべく市民団体「みんなでおどっぺし！おおふなと」を結成。まつり当日は、気仙のお祝い時のアイテム“赤手ぬぐい”を身に着け、3歳から80代まで、飛び入りも含めて約60人で踊りました。また4年ぶりに愛知県からトヨタグループボランティア有志の皆さんにもご参加頂きました。ありがたいことに今年で4度目の参加です。震災後、トヨタ自動車をはじめとするグループ関連会社16社の気仙地区におけるボランティアコーディネートをしてきましたが、その活動をきっかけに、今でも大船渡に足を運んでくださるみなさんがいらっしゃいます。今後も、このご縁を繋いでいきたいと思っています。



日頃市町関谷・ゆうこハウス



下船渡の牡蠣剥き場へ

9月10日■関谷の権現様が悪魔払いにきてくれました。頭をかんでもらったので、益々元気に、頭もよくなる！間違いなし笑！！

9月30日■10月2日の豊洲市場での初セリに合わせて、カキ剥き開始！暗いうちから棚に行き、早朝から剥き作業、お疲れ様です

末崎町出身シンガーソングライター：濱守栄子さんからの寄贈品

9月19日■大船渡市民体育館に、フィルムミラー約8.4mの寄贈をいただきました。友人である、はまちゃんこと濱守栄子さんから、“大船渡市に子どもたちに夢を与えるような寄贈品を送りたい”との相談を受けた翌日、日頃市の同級生から『娘がダンスをやっているが、鏡があるのはリアスホールのみ。今やダンスを習う子どもたちが増加。市として、子どもたちに夢を与えるような環境づくりが必要では』との声。それぞれの思いをおつなぎし、形となりました。





1 (仮称)大船渡市デジタル田園都市国家構想総合戦略について

- 人口減少対策・持続可能な地域社会であるための施策。
デジタルを活用し、DXを推進するには、進める事業の選択と集中と、専門部署立ち上げが必要。担う専門人材については、国の応援の体制の活用を！

ゆうこの
用語辞典

●デジタル田園都市国家構想：デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら、地方の社会課題の解決、魅力向上を実現し、地方活性化を目指す国の構想です。

●DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用し、業務、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、ビジネスや人々の生活を発展させること。

自治体においては、デジタル技術・データを活用して、住民の利便性を向上させること、市役所内の業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上に繋げていくことを目指します。

2 男女共同参画の推進状況

■パートナーシップ制度導入の検討状況

- 県に積極的に相談をし、多様性を認める大船渡となるべく年度内に方向性を示して！



3 今後の広報戦略について

優子：くらしの便利帳「わが街辞典」の導入について

ゆうこの
用語辞典

●くらしの便利帳「わが街辞典」：市役所における保険・年金、福祉・介護などの手続き情報のほか、災害時の備え・避難場所情報、ごみの分別・収集に関わる情報などの自治体サービスや、医療機関一覧、観光名所などの地域情報をまとめた冊子。民間事業者と自治体で共同発行されるものです。

【答弁】 費用は、市内事業者等の広告料で賄う仕組み。市の財政的負担は発生しないが、掲載した行政情報が変更されるたびに印刷をしないおす必要性と、事業者負担増の可能性がある。リスクも見極め、作成の是非の検討を進めていく。



【ゆうこの視点】 全国の一般市導入は 77%、岩手県内 65%と、全国・県内でも多くの自治体で導入。他自治体の例をみても、行政情報変更の度、毎年改定の必要はないものと考えます。10月から市の広報が月2回から1回の発行となりましたが、デジタルの恩恵を受けられない市民の方も多く、また災害時など紙媒体の情報源は必要と考えることからの提案。今後もその必要性を訴えていきたいと思ひます。

■広報モニターの導入について

- R5・6 年度はホームページの改訂など、広報の転換期。市民意見を反映した広報としていくためにもぜひ導入を！

決算審査特別委員会 2023年9月20・21日

■観光：観光地域づくり法人（DMO）について 市内の民間団体が DMO 申請をしているが、市として積極的に介入し、デジタル・観光 DX 分野を担ってもらうことを検討すべき。

他 学校予算・特別支援教育支援員・地域おこし協力隊など議論しました

大船渡町
議員団の
活動

8月31日・9月1日に町内小中学校を4名で訪問。学校の状況・施設整備について説明をいただき、老朽化による雨漏り箇所などを確認。また以前から大船渡市の図書費が少ないということは学校現場から聞いておりましたが、実際に図書館を見ると古い蔵書も多いことから、学校図書費について9月の決算委員会で取り上げました。今回の学校からだされた要望を受け、大船渡町議員団として、11月に教育委員会と意見交換を行う予定です。

本会議において、R4年度一般会計は賛成多数で「認定」となりましたが、私は、以下の理由から反対の立場で、**反対討論**を行いました。

■小中学校における図書購入費が、文科省が定める額の約1/4と非常に少ない現状にあること。



	国：地方交付税算定額	大船渡市の予算措置
小学校	394 万 7,900 円	99 万 1,000 円
中学校	201 万 9,200 円	55 万 4,000 円

一人ひとりにタブレットが貸与されていますが、図書室は児童・生徒の学びを支える基盤。子どもたちにとって適切な教育環境づくりは行政の役割であり、他地域との教育環境の格差を生んではならない。新年度は、学校における図書購入費、新聞費の配分をはじめ、**学校予算全体について見直しをはかるべきです**。本来学校に配分すべき予算を他に流用しなければならないほど大船渡市の財政が厳しい状況ですが、全体的な予算の見直しは必要と強く感じます。

■R4年度に交付金最終年を迎えた、国の地方創生推進事業「スポーツアクティビティ体験型交流創出・展開プロジェクト」廃校となった旧甫嶺小学校を、スポーツアクティビティ施設とした甫嶺復興交流推進センターの利用料金収入が当初計画より大幅に下回っている現状にあること。

＊3年間で整備費＋委託料約3億4000万投じてきた事業
R4年度： 全体予算約6,800万円（うち委託料1,800万円）
収入（利用料金）約235万＊当初計画915万円

- 事業の性質上、すぐに黒字経営を望める事業でないことは理解しますが、今後、**最適な施設運営のあり方を適宜協議し、事業の収支バランスを見極めながら、その後の自走化に向けた努力を強く求めます。**
- 大船渡市の重点プロジェクトとして位置付けている事業であるにも関わらず、市の観光系のHPでの紹介がなされていません。担当課と観光推進室との庁内連携がなされていないのでは？この事業だけでなく、**庁内部署の縦割りの弊害を感じる**ことが多いことから、**庁内の連携体制についての再考を強く求めます。**
- 近年、国の交付金を活用して実施してきた、特にも経営と収益性を求める事業は、その後の担当職員のご苦勞を強く感じます。今後、交付金を活用したデジタル



田園都市構想に関する DX 事業の推進に期待しますが、今回の事業の検証をふまえ、事業の選択と集中、十分なストレスチェック、外部の専門的知見を交えた、**人口減少対策につなげていく事業構築を強く望みます。**

市政への疑問・質問、地域でのお困りごとなど、お気軽にお聞かせください！

住 所：〒022-0002 大船渡市大船渡町字下平 14-1

電 話：090-7283-0348 FAX：0192-22-7726

E-mail：yuko.ofunato@gmail.com



大船渡の
未来は
みんなで
つくる